

平成26年度 下京区運営方針

北には市内有数の商業地の賑わいがあり，南には京都市最大の交通ターミナル京都駅や全国屈指の門徒数を誇る東西両本願寺を擁し，東には壮麗な高瀬川の流れとともに多数の史跡が点在し，西には梅小路公園や京都水族館，京都市リサーチパーク，中央卸売市場などの賑わい施設が集積する…東西南北どこをとっても魅力ある施設，資源が集積する下京区。

一方で，古くからの住民自治の伝統や，支えあいの精神が息づき，地域に根差したまちづくり活動がそこかしこで活発に展開されています。

これまで長きにわたり培われた地域力を誇る下京区の魅力を一層引き出し，区民の皆様の笑顔が溢れるまちの実現を目指し，下京区役所では，区民の皆様の多様な要望や相談に応え，生活をしっかりと支える最も身近な行政機関との自覚を新たにし，この度，平成26年度「下京区運営方針」を策定しました。

策定から4年目を迎え，区民の皆様の熱い思い，夢，希望が詰まった下京区基本計画を一層着実に実行していくとともに，町衆文化や住民自治の伝統を踏まえながら，下京のまちが持つ力を一層高め，まちづくりに生かす取組を推進します。

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために

テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ（人をつなぐ）

基本方針 Ⅰ－①

健やかな暮らしを地域力で育む

【重点取組】

(1) 絵本から広がる笑顔の輪（地域力推進室）【新規】

「だいすきっ！京都・寄付金」を活用し，区内9小学校の児童を対象に，地域のボランティアなどの方々の協力を得て，大型絵本の読み聞かせや交流などを実施することにより，すべての児童が楽しく学校生活を送るとともに，心豊かな思いやりのある児童となるよう地域ぐるみで支援します。

(2) 下京・高齢者お出かけお助けマップ事業（支援課）【新規】

高齢者の孤立化の未然防止や団塊の世代の社会参加の促進を図るため、身近な高齢者の居場所づくりや支援事業を紹介する学区ごとの冊子を作成し、地域の高齢者に配布することで、地域の行事や取組への参加を促進します。

(3) 「下京歩歩（ぽっぽ）塾」の推進（地域力推進室、福祉部、保健部）

I T歩数計をつけたウォーキングで歩くことを習慣づけ、地域ぐるみの健康づくり活動を行い、区民の皆様の健康増進を図ります。

塾生数がなかなか増加しない傾向にあるため、今年度も引き続き塾生による企画運営委員会が主体となって歩こう会等の行事を企画・実施するとともに、新たに食事調査の実施による食事アドバイスを行うなど、活動内容の充実を図ります。

(4) 関係団体との連携による健康づくりの取組（健康づくり推進課）

下京・南医療連携協議会による健康まつりの継続開催や健康づくりボランティアグループとの連携による梅小路公園や下京老人福祉センターでのメタボビクスの普及活動を支援します。また、健康教室（出前教室）や食育セミナー等健康づくり事業を推進し、区民一人ひとりが健康づくりへの意欲を高めて、主体的に取り組むことができるよう、関係団体との連携を深めるとともに、誰もが日々の暮らしの中で健康づくりを実践できる環境整備に取り組みます。

基本方針 I - ②

近所のお付き合いで安心を支える

【重点取組】

(1) ごみ屋敷対策（地域力推進室、福祉部、保健部）【新規】

下京区内には、ごみを溜め込んで処理することができない状況となっている、いわゆる「ごみ屋敷」が複数存在しており、その周辺では、悪臭や害虫等により良好な生活環境が損なわれている状況や出火等の恐れがあります。そこで、地域の生活環境が著しく損なわれている状況を解消し、居住者等及び近隣住民の健康で安心・安全な生活を確保するため、下京区では、平成25年8月に立ち上げたごみ屋敷対策チームが今後とも地域の皆様や関係機関と協力連携して、その解決に向けた取組を進めます。

(2) 空き家を活用した地域力の向上（地域力推進室）

下京区には、約7,000戸の空き家があります。地元の皆様の協力を得て、これらの空き家を有効に活用し、地域の活動に積極的に参加していただける居住者等を増やすことで、地域力の向上を図ります。

(3) 避難所運営マニュアルの作成支援（地域力推進室）

下京区には28箇所の避難所があります。大規模災害時に地域の皆様に役立つ避難所における運営マニュアルについて、平成25年度までに10箇所のマニュアル作成支援の取組を進めてきました。今年度は残る18箇所の避難所についても、区民の皆様が地域の実情に合わせた避難所開設やその運営に関する使いやすいマニュアルを作成できるよう支援します。

(4) 下京区安心安全ネット継続応援事業（地域力推進室）

この事業は4年目に入り、各学区の防犯推進委員、交通対策協議会、子ども見守り隊などの皆様による自主的、主体的な安心・安全なまちづくり活動が進んでいます。今年度も引き続き安心・安全なまちづくり活動に必要な旗等の購入費用に対する補助金を交付し、地域の安心・安全なまちづくりの支援を行います。

(5) 子ども家庭支援ネットワークの充実・強化（支援課、健康づくり推進課）

乳幼児のいる親子のふれあいと交流の場を提供する「下京たんぽぽ広場」の継続的な開催や孤立しやすい子育て家庭を主任児童委員が訪問する「下京赤ちゃんねっと」事業の充実（マスコットキャラクターを活用した事業周知や申込方法の見直し）など、子育てを支援する関係機関が実施する事業について、関係機関との連携を図ります。

(6) こころのふれあいネットワーク（健康づくり推進課）

地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成されている「こころのふれあいネットワーク」の事業を通じて、精神障害やこころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を行います。

今年度は、ネットワーク通信「下京こころほっとだより」等の発行、講演会や地域懇談会の開催を通じ、活動内容を広く区民の皆様へ情報発信します。

(7) 権利擁護等高齢者福祉ネットワークの充実・強化（支援課、健康づくり推進課）

地域包括支援センターを核とした高齢者福祉ネットワークの連携を強化し、高齢者の権利擁護や高齢者に関する問題や課題の解決に取り組みます。

(8) 極め細やかな下京区防災訓練の実施（地域力推進室）

平成25年（1月～12月）の火災は21件（死者3名）で、前年と比較して10件増（死者3名増）となりました。今年度は、下京消防署や下京区自主防災会連絡会などと連携を図りながら地域の皆様による防火意識の高揚にポイントを置いた防災訓練を行い、火災のない安心安全なまちづくりを推進します。

【重点取組】

(1) 下京区安心安全ネット継続応援事業（地域力推進室） <再掲>

この事業は4年目に入り、各学区の防犯推進委員、交通対策協議会、子ども見守り隊などの皆様による自主的、主体的な安心・安全なまちづくり活動が進んでいます。今年度も引き続き安心・安全なまちづくり活動に必要な旗等の購入費用に対する補助金を交付し、地域の安心・安全なまちづくりの支援を行います。

(2) 安心で環境にやさしい夜間門灯点灯運動（地域力推進室）

夜間の通りを明るくする門灯点灯運動への区民の皆様の参加を促し、安心安全のまちづくりを目指すとともに、環境にやさしいLEDの啓発・普及を図ります。

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ（空間をつなぐ）

【重点取組】

(1) 新たな賑わいを創出する下京区西部エリアの活性化（地域力推進室）

京都駅から西に広がる梅小路公園を中心とする下京区西部エリアは、京都水族館をはじめ、すぎくゆめ広場や市電ひろばの開業もあり、活気や賑わいが増しています。また、京の食文化の拠点である中央卸売第一市場については、京の食文化の継承と発展に向けた市場づくりを進めています。更に平成28年春には、京都鉄道博物館の開業も控えており、梅小路公園界隈はより多くの人が集まることが予想されています。今後とも、これらの集客施設や地域資源の活用などにより、エリアの魅力をより一層高め、市民や観光客等が多数訪れる京都を代表する賑わいのあるエリアとなるよう魅力豊かなまちづくりを進めます。

(2) 京都駅東地区エリアのまちづくり（地域力推進室）

京都駅東地区エリアでは、「創造・交流・賑わい」のまちを目指す「崇仁地区将来ビジョン」の実現に向け取組が進められています。そうした中、平成26年1月に京都市立芸術大学を崇仁地区へ移転整備する方針が示され、今後は、芸大を核としたエリアマネジメントの取組を支援し、京都の玄関口としての魅力あるまちづくりを進めます。

**(3) 民間主導と区民参加による「下京・京都駅前サマーフェスタ2014」の支援
(地域力推進室)**

京都駅ビル開発㈱や東西両本願寺とともに、地元の学区の皆様、小中学校、各種団体等の積極的な参加のもと、下京区の新しい夏の風物詩である夏祭りの事業と一緒に進め、まちの賑わいづくりと活性化を進めます。

基本方針 II - ②

まちの個性を生かし魅力を高める

【重点取組】

(1) 菊浜学区のまちづくり (地域力推進室)

高瀬川の川筋を花で飾る取組や地域活性化に向けたまちづくりに対する話し合いの場づくりへの支援などを通して、住民の皆様の地域への愛着を深めるとともに、地域全体でまちづくりに取り組む機運づくりを行います。

(2) 歩いて知る、下京の魅力再発見 (地域力推進室)

地域の文化や歴史、隠れた名所等を紹介する取組や地域資源をつなぐスタンプラリーの実施等により、歩いて下京区の魅力を再発見できる取組を行います。

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ (時をつなぐ)

基本方針 III - ①

エゴを捨ててエコ活動を行う

【重点取組】

(1) 「エコ学区」事業の推進 (地域力推進室) 【新規】

京都市では、エコ活動が地域に浸透し、環境にやさしいライフスタイルへの転換と地域や家庭から排出される二酸化炭素が削減することを目指し、学区ごとに地域ぐるみでエコ活動を推進する旨のエコ学区宣言をしていただき、エコ活動に取り組んでいただくこととしています。下京区では、全23学区のうち既に19学区においてエコ学区宣言をしていただいております。残る4学区においても「DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか。)」を合言葉に、エコ活動の輪が広がるよう支援します。

【重点取組】

(1) 下京地域力アップ応援事業（地域力推進室）

地域の支え合いやつながりを強め、コミュニティの活性化を図るため、自治会への加入促進を行うとともに、各地域が取り組まれているまちづくり活動の先進事例等の情報提供等を行うなどの支援を行います。

(2) 下京・町衆倶楽部（地域力推進室）

下京を愛する様々な立場の方々が集い、下京の魅力溢れるまちづくりについて自由な発想で話し合い、自ら実践する場を引き続き提供するとともに、まちづくり活動に取り組まれる方々との交流会の開催やネットワークづくりなどの支援を行います。

2 区民の皆様の地域力を生かした新しいまちづくりのために

基本方針

地域が持つ底力を引き出し、区民の皆様と力を合わせてまちづくりを進める

【重点取組】

(1) 「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施（地域力推進室）

区民の皆様等の自由でユニークな発想によるまちづくりや、学生や子どもたちが楽しみながら行うまちづくり活動等を支援します。

(2) 「下京区活性化機運づくり事業」の実施（地域力推進室）

地域の魅力を発掘し、発信する取組や地域の交流を図るイベント等を開催し、区民の皆様への地域活性化に向けた機運づくりを行います。

(3) 学区カルテの活用（地域力推進室）

各学区の様々な統計情報や取組等の収集を通して、経年変化を踏まえた地域の動向データを分析し、各学区の特性を把握することにより、地域活動の活性化支援に広く活用します。

(4) 「下京区民まちづくり会議」の開催（地域力推進室）

様々な分野でまちづくりに関わる方々から、下京区基本計画の推進等について広く御意見をいただき、まちづくりに生かします。

(5) ふるさと納税寄付金制度（地域力推進室）

ふるさと納税寄付金制度によっていただいた貴重な財源を、御寄付をいただいた方の意向も踏まえ、地域の皆様とともに下京区のまちづくりのために有効に活用します。

3 一層信頼される区役所づくりのために

基本方針	すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るといふ基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆様（お客様）に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する また、全職員が高い防災意識を持ち、災害時に迅速に行動する
-------------	---

【重点取組】

(1) 公務員倫理及び法令遵守の徹底と市民サービスの向上（地域力推進室，区民部，福祉部，保健部）

下京区役所職員は、区政への市民の信頼を得るため、市民から負託を受けた公務員としてのより高い規範意識、職業倫理を保持するとともに、法令を遵守し、創造的かつ主体的に職務を遂行するよう徹底します。また、区民の皆様が目線に立った満足度の高い行政サービスの提供に向けて取り組みます。

(2) 区役所庁内プロジェクトチームの取組の充実（訪れたくなる庁舎部会，市民応対向上部会，役に立つ情報発信部会）（地域力推進室，福祉部，保健部）

区民の皆様が親しまれ、気軽に利用していただける区役所づくりのために、職員有志によるプロジェクトチームが改善や工夫が必要な点について話し合っています。庁舎内階段の踊り場壁面に区内の幼稚園児や保育園児の皆さん等による絵画作品などを展示するシモン s ギャラリーを引き続き開催するとともに、保健センター側の階段スペースの有効活用などに取り組みます。

(3) 市税等の適正な事務推進と徴収率の向上（税関係課，保険年金課，福祉介護課，支援課）

行政サービスの財源となる市税や保険料等について、適正な事務の推進に努め、皆様から公平かつ確実に納付いただくことで、みんなで支える社会を築きます。

(4) 防災訓練・研修の充実（地域力推進室）

大規模地震等の緊急時に、全職員が機敏に対応できるよう、職員参集訓練を含めた防災訓練などを実施するとともに、下京区自主防災会連絡会と連携を図り、東日本大震災の復旧支援で京都市から派遣された職員による実体験に基づいた講演会を開催するなどの防災研修を行います。